

令和2年度第10回理事会 議事録

日 時：令和3年1月6日（水）18：00～19：50
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所&WEB（Zoom）
出 席：（事務所）藤田、柴田、刑部、武山、藤井、山村、中井監事
（Zoom）中根、夏目、岡田、内田、石神、菊地、佐野、小木曾、和出、神野、湯上、犬塚、岩月、明壁、手嶋、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：なし
理事定数：21名
出席理事数：21名
議 長：中根 生弥
書 記：小木曾 美紀
議事録署名人：中根 生弥、中井 美千代、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

12月2日 第9回理事会

◎中根、藤田、岡田、夏目、柴田、石神、内田、刑部、武山、菊地、佐野、神野、和出、小木曾、湯上、藤井、岩月、明壁、犬塚、手嶋、山村、中井監事、山崎監事

12月12日 輸血研究班 Live 研修会

◎武山

12月15日 日臨技「タスク業務啓発事業」会議

◎中根、夏目、藤田、岡田、刑部、武山

12月22日 愛知県におけるタスク・シフト／シェアの推進方法

◎中根、岡田

12月23日 第9回執行理事会

◎中根、夏目、藤田、岡田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第8回執行理事会報告

夏目副会長より、議事録の提示とともに以下の報告がされた。

令和3年度事業内容の確認と、現在使用しているPCAソフト（会計ソフト）のサポートが令和3年7月31日に終了するにあたり、次の仕組みについて検討を行った。

12月15日 日臨技「タスク業務啓発事業」会議報告

夏目副会長より、議事録の提示とともに以下の報告がされた。日臨技より、タスク・シフティング等医療勤務環境改善推進事業の協力依頼があり、愛臨技として令和3年1～2月の間

に「臨床検査技師に対するタスク・シフティング業務啓発事業」を行い、7月から指定講習会を行うための協議をした。

(2) 中根会長

- 12月 4日 中部圏支部事前会議 に出席した。
- 12月 5日 第4回 日本臨床衛生検査技師会理事会に出席した。
- 12月11日 第2回 厚生労働省指定講習会 WG 会議に出席した。
- 12月22日 愛知県におけるタスク・シフト/シェアの推進方法について、愛知県技師長協議会会長と打ち合わせを行った。

(3) 岡田副会長

- 12月22日 愛知県におけるタスク・シフト/シェアの推進方法について、愛知県技師長協議会会長と打ち合わせを行った。議事録資料提示とともに報告された。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

夏目副会長より、以下の報告がされた。

- ・法人設立35周年記念式典・特別講演会の日時・会場について予約した。

開催日時：令和3年10月31日（日）10時～12時

会場：ガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー

特別講演講師は選定中である。

- ・令和3年度定時総会の日時・会場について決定した。

開催日時：令和3年6月13日（日）10時から12時

会場：名古屋駅前カンファレンスセンター、ホール5A

シアター形式で最大139席（プロジェクターを使用する場合は最大117席）

出席人数について100人を予定するが、COVID-19の感染状況によりLive配信など可能かを検討する。電磁決済による議決権行使が使用可能かなど課題がある。

① 庶務部

- 12月 2日 令和3年2月6日に開催する尾張東地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月 3日 令和3年3月15日に開催する2020年度愛臨技精度管理調査報告会のお知らせを発行し、来賓（愛知県、医師会、病院協会）に発送した。
- 12月 9日 令和3年2月13日から26日にWEB開催する一般検査研究班 研究会講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月15日 年賀状を発送した。
- 12月17日 新年挨拶を控えるお知らせを愛知県、医師会、病院協会へ発送した。
- 12月22日 令和3年2月13日から26日WEBにて開催する輸血検査研究班 研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月23日 令和3年2月13日から2月26日WEBにて開催する遺伝子染色体検査研究班 研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月23日 12月に開催した輸血検査研究班 講演会の講師礼状を発行し、発送した。
- 12月23日 11月から12月に開催した遺伝子染色体検査研究班 研究会の講師礼状を発行し、発送した。
- 12月25日 令和3年2月15日から2月28日にWEBにて開催する西三河地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の12月分会務報告書および会計執行状況について資料の提示とともに報告された。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より、以下の報告がされた。

- ・ 12月25日、11月輸血検査研究班研究会（オンデマンド配信）と11月微生物検査研究班研究会（オンデマンド配信）、11月遺伝子染色体検査研究班研究会（オンデマンド配信）の日臨技推進事業決算報告が承認され、それぞれ愛臨技へ助成金が支払われた。
- ・ 第20回愛知県医学検査学会 学術奨励賞の「管理運営、チーム医療」推薦をZohoにて地区理事に依頼した。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

12月18日 第2回尾張西地区運営会議をWEBにて開催した。（参加：6施設7名）

● 尾張北地区

2月開催予定の研修会議題について施設担当者へアンケート実施した。

● 尾張南地区

12月17日からWebで地区研修会を配信、事前登録者は365名。
アンケート回収率は次回理事会で報告とする。

● 知多地区

12月10日 第1回知多地区運営会議をZoomにて開催（参加：7施設8名）

② 組織部

刑部組織部長より、以下の報告がされた。

- ・ 管理運営研修会が12/1～12/21の期間オンデマンド配信され、事前登録は144名、アンケート回答数は121名（84%）であった。アンケートの集計はZohoで報告する。
- ・ フレッシュセミナー2021は6月開催で準備を進めている。
- ・ 管理運営に関する施設アンケートの結果は、次回理事会で報告予定。

③ 広報部

武山広報部長より、以下の報告がされた。

- ・ 「らぼニュース No.466」（令和3年1月号）を3,600部発行した。
自宅会員へ、らぼニュース配送停止と希望の案内を同封した。
- ・ 事務所にWEB開催時に必要な備品として以下を追加した。
モバイルモニター 15.6インチ
WEB用マイク
事務所のノートPCのメモリ交換

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より議事録の提示とともに報告された。

12月12日 輸血検査研究班 Live 研修会を開催した。初めてのライブ配信であったが大きなトラブルはなく開催できた。愛臨技所有のPCにおいて音声が聞き取りにくい事象があり原因を調査中である。

ホームページ更新歴

11月23日 2020年度後期行事予定の掲載
 11月24日 輸血検査研究班
 研究班活動・行事予定(12/12(土)講演会についてのお知らせ)とカレンダーを更新
 11月25日 血液検査研究班 研究班のお知らせ欄に「12月研究会へ申し込みをされた方へ」
 を掲載
 11月30日 管理運営研修会の動画視聴ページの作成
 11月30日 県学会 HP のWEB 展示バナー、一般演題のうち音声なしと抄録のみの掲載
 11月30日 病理細胞 12月研究会の動画視聴ページ作成
 11月30日 県学会 PR 動画の掲載
 12月1日 生物化学分析検査研究班 生物化学 12月研究会の動画視聴ページ作成
 12月1日 血液検査研究班 12月の研究会の増員に関するお知らせを掲載
 12月2日 尾張南地区研修会の動画視聴ページ作成
 12月2日 一般検査研究班 2/12より開催のWeb講演会、研究班活動およびカレンダーにア
 ップロード
 12月6日 一般 12月研究会の動画視聴ページ作成
 12月6日 県学会 HP の編集
 12月6日 血液 12月研究会の動画視聴ページ作成
 12月9日 遺伝子・染色体検査研究班 1月のWeb開催の研究会の案内、カレンダーを更新
 12月11日 輸血検査研究班 研究班活動・行事予定を更新

(2) 70周年記念誌編集委員会

岡田副会長より、原稿の点検を行っている状況であることが報告された。

(3) 事務所移転準備委員会報告

夏目副会長より、特に進捗状況の変化はないが、らぼニュースへは「現在の進捗はないが、今後も将来に渡り使用する新規事務所を焦らず良い物件を探す方向である」内容で掲載予定であるとの報告がされた。

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、議事録の提示とともに以下の報告がされた。

12月17日に2020年度第2回AiCCLS実務委員会を開催した。各部門の活動状況の報告と中間監査を実施した。またAiCCLS理事会(1/18)提出予定の発行物(HCV検査のリーフレット、臨床化学検査における試薬検討の基礎知識)について最終確認を行った。

6. 第20回愛知県医学検査学会進捗報告

岩月理事より、議事録の提示とともに以下の報告がされた。

12月4、5日両日で尾張南地区企画動画撮影会を開催した(参加:6施設7名)。12月末に動画が完成し、実行委員にて確認完了した。

事前登録期間:12月1日~1月10日迄。一般演題発表者も事前登録が必要であるが、未登録者がいるので各地区理事の方から登録の呼びかけをしていただくよう依頼された。

7. 日臨技理事会報告

中根会長より、資料の提示とともに以下の報告がされた。

- ・ 2021年3月20日 検体採取指定講習会(東京)は予約で満席(300名)、5月に予定されているので未受講者への参加呼びかけを依頼された。
- ・ 第70回日本医学検査学会(福岡:5/15-16)は現地開催で企画中。スキルアップセミナーは会場研修ではなく、日臨技WEB講習システムで開催する方向である。
- ・ 新型コロナウイルスに罹患した会員への支援制度(12/1より)
日臨技として保険に加入したので罹患した場合は利用できる。
- ・ 日臨技精度保証認証制度から日臨技品質保証施設認証制度へ名称変更する(2022年4月1日より)。認定分野が拡大され、また、精度管理責任者養成をeラーニングで行う。

- ・ 日臨技各種 WG が設置され、愛臨技会員も多く選任されている。
- ・ 医療事故発生対応 2 件 日臨技の保険が適用されたとの報告があった。
- ・ タスクシフト/シェアに関する指定講習会（2021 年より） が開始される。
- ・ 臨地実習指導者講習会（2021 年より） について
2023 年度末までに全国で 1,200 名以上（中部圏支部では 160 名）の臨地実習指導者を養成する。

Ⅲ. 協議事項（議決に関して、事務所は挙手、リモートの理事の承認は投票にて記録した）

1. 第 9 回理事会の議事録（案）の確認について
柴田庶務部長より、第 9 回理事会の議事録（案）の内容を確認し、修正があれば 1 週間以内に Zoho にて庶務部長まで通知するよう依頼され、全員一致でこれを承認した。
2. 令和 2 年度補正予算審議
石神会計部長より、令和 2 年度補正予算書の提示と内容について説明がされ、全員一致でこれを承認した。
3. 賛助会員の広告費内規作成について
柴田庶務部長より、資料の提示とともに賛助会員の企業広告、企業セミナーなどの告知を技師会として有料で受けること、その内容、内規作成、金額について審議依頼がされた。
広告方法としては HP へのバナー掲載やらぼニュース掲載、らぼニュースと同封など。
武山広報部長より、HP へのバナー掲載は 4 社くらい（横一列）が妥当とのこと、また、山崎監事より、HP へのバナー掲載は、営利目的には当たらないとの発言がされた。
掲載希望がある場合は、申請書提出の上、理事会承認の上で掲載とする。
規定作成、内容について、全員一致でこれを承認した。

金額については協議の結果、企業広告バナーは 1 社 5 万円（4 社で年間 20 万円）。企業セミナー紹介ページへのバナー掲載は、1 ヶ月 1 万円とし、掲載期間は企業の希望期間とすることを全員一致で承認した。
4. 公印管理規程および会長印作成について
 - ・ 柴田庶務部長より、公印管理規定（案）の提示とともに電子印鑑運用にあたり、その運用を規程するものとして公印管理規程を作成したいとの提案がされた。
山崎監事より、公印の取扱者の内容については、削除の提案があり、内容については再度確認が必要であるが、公印管理規程を作成することについて、全員一致でこれを承認した。
 - ・ 現在保有している会長印を銀行印とし、別に委嘱状などで使用する会長印を新規作成する提案がされた。全員一致でこれを承認した。
5. 新発刊物（『CBC 誤差要因と対策』と『輸血検査における標準作業手順書Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』のホームページへの掲載許可について
佐野理事より、上記の内容について説明および掲載許可の審議依頼があり、全員一致でこれを承認した。

Ⅳ. 新入会審査

1. 柴田庶務部長より、12 月分入会 3 名、退会 8 名 の承認依頼があり、全員一致でこれを承認した。

Ⅴ. 確認事項

1. らぼニュース 2 月号掲載内容について

武山広報部長より、以下について確認がされた。

締切は1月8日まで。

AiCCLS (72回)

巻頭言(武山広報部長) ホームページリニューアルについて

地区だより(東三河)

2. 寄生虫に関するアンケート調査のお願いについて
内田学術部長より、資料の提示とともに説明がされた。
中部圏支部臨床一般部門から上記のアンケート調査再依頼があった。愛臨技としての各施設への伝達方法については、各地区理事より各施設へ伝達を依頼した。また、各研究班からも伝達することとした。
3. 第20回愛知県医学検査学会 学術奨励賞推薦の地区理事依頼について
内田学術部長より、地区理事に「管理運営、チーム医療」の学術奨励賞推薦のお願いがされた。
4. 会議・集会等開催のあり方(案)について
藤田副会長・神野理事より、コロナ禍における会議・集会等の開催方法についてまとめた資料の提示があり、内容の確認依頼がされた。他県からの参加者の生涯教育点数付与については、執行理事会で、研修会申込方法については学術部・武山広報部長で再検討することとした。
5. 令和3年度都道府県技師会との関連事業(予定)について
岡田副会長より、資料の提示とともに以下の説明がされた。
生涯教育推進研修会助成は例年通りとし、リーダー育成講習会は予算申請済みで渉外部門で検討中。検査と健康展は予算申請済みであるが、計画・開催についてはCOVID-19感染症の状況次第で決定する。地域ニューリーダー育成講習会は令和3年度は中止の予定、初級・職能開発講習会は3年に1回開催のため令和3年度は中止し、令和4年以降に開催を予定する。タスクシフトに向けた企画を優先開催とする。
6. 理事会日程
 - (1) 第10回理事会(令和3年1月6日)
 - (2) 第11回理事会(令和3年2月3日)
 - (3) 第12回理事会(令和3年3月3日)
 - (4) 令和3年度第1回理事会(令和3年4月7日)
 - (5) 令和3年度第2回理事会(令和3年5月@日)
 - (6) 令和3年度第3回理事会(令和3年6月9日)
 - (7) 令和3年度定時総会(令和3年6月13日・日曜日)

VI. 連絡事項


1. 共通書式について
柴田庶務部長より、懸案となっていた技師会様式などの一覧表資料の提示があり、内容確認依頼がされた。各部門の部長を中心に確認し、追加が必要な様式、様式管理方法など意見があれば柴田庶務部長まで報告するよう依頼された。
2. 新型コロナウイルス感染症の核酸増幅検査実地研修について
夏目副会長より、資料の提示とともに以下の報告、依頼があった。
実地研修終了者数を日臨技に報告しなくてはならないため、日臨技の核酸増幅検査(PCR等)基礎研修(WEB研修)を修了された方で、自施設で研修を終えられた方は、施設単位または個人にて報告書(写真付き)を提出していただきたい。連絡方法として、地区理事から対象の施設連絡者へ連絡するもしくは、日臨技WEBで終了者個人へメールするかなど検討し、Zohoで案内することとした。


3. 日臨技「タスク業務啓発事業」について

中根会長、岡田副会長より、資料の提示とともに概要説明がされた。

日臨技「タスク業務啓発事業」を理事と技師長協議会メンバーの参加で2月12日(金)開催を計画する。日臨技のWEB講義(第1講~4講)受講完了後の参加となる。新しい業務を資格として身につけても取り組めるかどうかは課題であり、その障害となる問題点の抽出や、前向きに院内で業務に携わる士気を向上させる方法などについてディスカッションを行う予定。

令和3年2月3日

議長 : 中根 生弥 

議事録署名人 : 中井 美千代 

山崎 正夫 